

アスベスト分析結果報告書

分析結果報告書

東海技水第 19127916-001 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-6号棟 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	9時 30分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-6号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1963(昭和38)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、薄桃色非繊維状材料、茶白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-002 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-6号棟 増築部 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	9時 45分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-6号棟 増築部
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1990(平成2)年増築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	薄橙色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-003 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石 丁目7-10 番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-7号棟 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	10時 15分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分 析 対 象	単 位	分 析 結 果	備 考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-7号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1963(昭和38)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、薄橙色非繊維状材料、白色非繊維状材料、茶白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-004 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-7号棟 増築部 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	10時 00分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-7号棟 増築部
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1988(昭和63)年増築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-005 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-8号棟 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	10時 30分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-8号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1963(昭和38)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、薄橙色塗材、半透明塗材、茶白色非繊維状材料、薄ベージュ色非繊維状材料、茶白色非繊維状材料	
アスベストの種類および推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-006 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-9号棟 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	10時 10分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-9号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1963(昭和38)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、薄橙色塗材、白色塗材、茶白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-007 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-9号棟 増築部 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	10時 20分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-9号棟 増築部
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1988(昭和63)年増築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-008 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章

様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-11号棟 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	9時 35分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-11号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1963(昭和38)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ～1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、薄桃色塗材、ベージュ色非繊維状材料、薄橙色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。

この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。

含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。

なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

①無検出

②検出

③0.1%～5%

④5%～50%

⑤50%～100%

注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-009 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章

様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-12号棟 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	9時 50分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-12号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1963(昭和38)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、灰色非繊維状材料、黄色半透明塗材、黄白色塗材、薄桃色塗材、半透明塗材、白色塗材、ベージュ色非繊維状材料、薄橙色非繊維状材料	
アスベストの種類および推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。

この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。

含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。

なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

①無検出

②検出

③0.1%～5%

④5%～50%

⑤50%～100%

注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127916-010 号

令和 2 年 2 月 27 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 2 年 2 月 13 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営平針住宅 9-12号棟 増築部 外壁		
採取日時	令和 2年 2月 13日	10時 00分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：平針住宅9-6号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和2年2月13日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営平針住宅 9-12号棟 増築部
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1992(平成4)年増築	
建物などの採取部位及び場所	場所	—
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「—」を記載した。

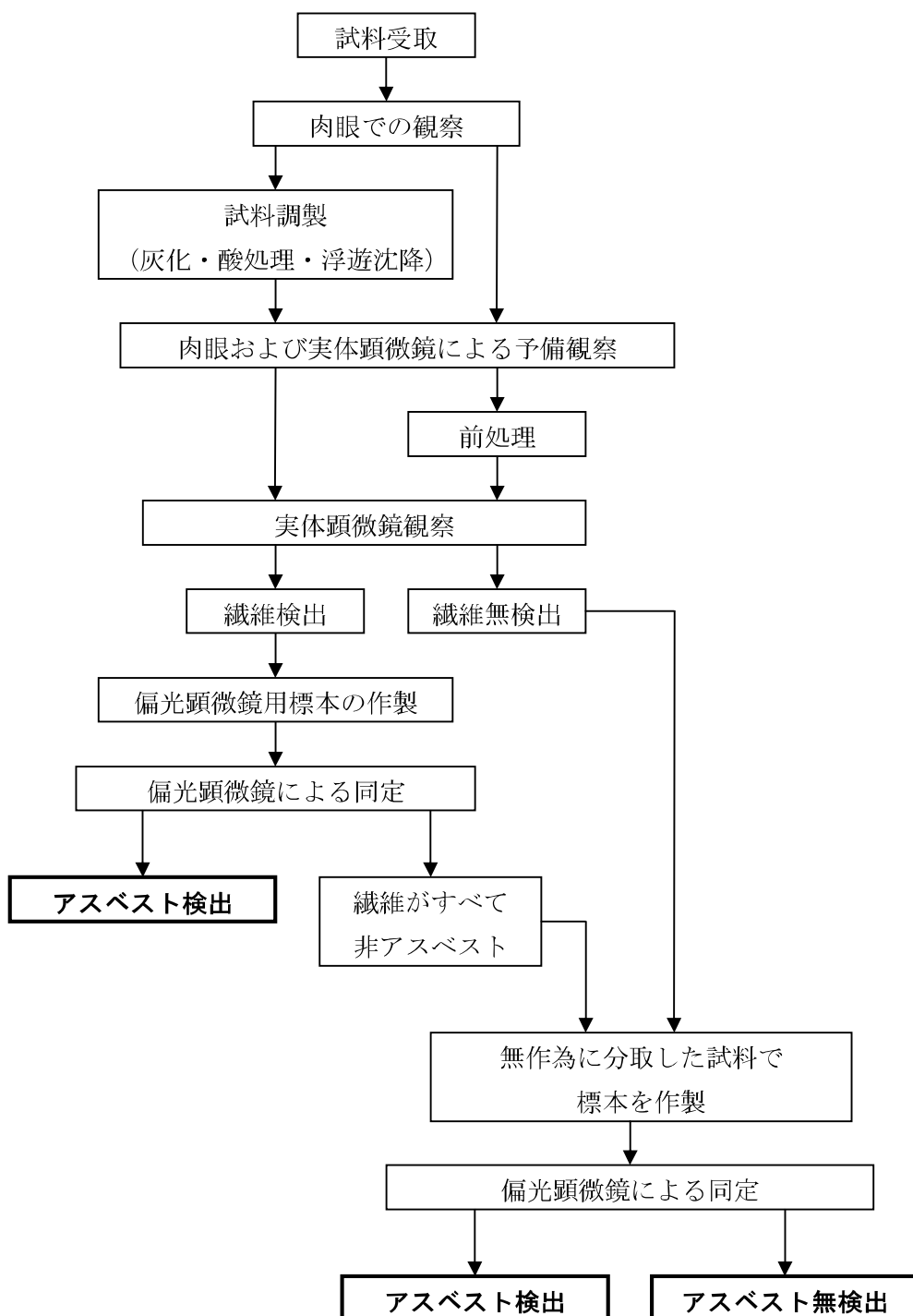
【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年2月25日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	—
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

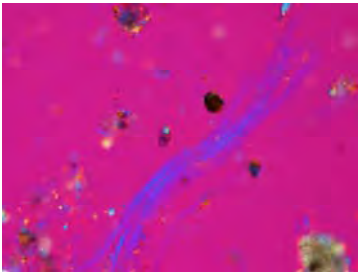
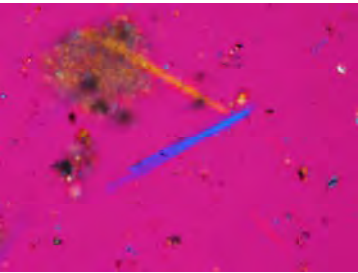
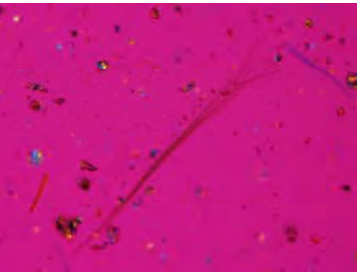



- 注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。
- 注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。
①無検出
②検出
③0.1%～5%
④5%～50%
⑤50%～100%
- 注記3 “報告区分” “検出” は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。
- 注記4 “アスベスト含有” の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

バルク材中のアスベスト定性的判定方法フロー

(JIS A 1481-1)



偏光顕微鏡によるアスベスト分析写真（例）

		
クリソタイル	アモサイト	クロシドライト
		
トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト

上記写真は、弊社にて作製した標本を撮影したものである。

アスベスト含有率のX線回折定量分析方法フロー

(JIS A 1481-3)

